

斐伊川放水路放流時の 周知方法

大雨で斐伊川が増水し、斐伊川本川の洪水量が毎秒約400m³を超えると、斐伊川放水路への自然越流が始まります。その後、同じく毎秒500m³を超えると斐伊川放水路分流堰のゲートを倒す操作を行います。ゲート操作を行う場合は、次のように周知します。

ゲート操作 約1時間前

国土交通省出雲河川事務所から、県庁、市役所、出雲警察署、出雲消防署へ放流通知があります。また、河川内に人がいないか警報車で下流の巡視を行います。

ゲート操作 約30分前

斐伊川放水路、神戸川沿いに29か所設置している放流警報局で、次の周知を行います。

- スピーカー・・・30秒鳴らす→6秒休止→15秒鳴らす
- 回転灯・・・周知開始から分流終了まで回転

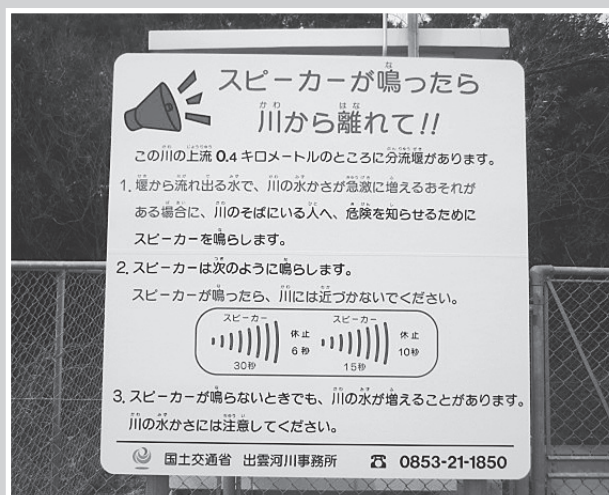
※分流堰の操作で川の水かさが急激に増える恐れがあるため川には近づかないでください。

ゲート操作開始

また、出雲河川事務所のホームページでも、周知を行います。
<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>



放流警報局(大津上来原町内)



放流警報看板

おたすね

国交省 出雲河川事務所 ☎21-1850
出雲市 建設企画課 ☎21-6561

地震に安心なお住まいですか？

まずは耐震診断を受けてみましょう！

平成23年3月の「東北地方太平洋沖地震」（東日本大震災）が記憶に新しいと思いますが、山陰においても、平成12年10月に「鳥取県西部地震」が発生しており、日本のどこで、いつ大地震が発生してもおかしくない状況にあります。

これらの地震では、昭和56年5月31日以前に建てられた“旧耐震基準による建築物”に多くの被害があったことが判っています。

もしもの時に備え、お住まいの住宅が安全かどうか把握しておきましょう。

市では、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図るため、耐震診断や耐震改修に必要な費用の一部について助成しています。

対 象

次のすべてに該当する木造住宅

- ①市内にあり自己所有で自らが居住するもの
- ②一戸建ての住宅または併用住宅（延べ面積の2分の1以上を居住の用に供するもの）
- ③在来軸組構法、枠組壁工法及び伝統的構法によるもので、階数が2以下のもの
- ④昭和56年5月31日以前に着工されたもの



耐震診断補助

- 補助金額：一般診断…耐震診断費の3分の2で、4万4千円が上限。
精密診断…耐震診断費の3分の2で、12万円が上限。

※耐震改修補助については、耐震診断に併せてご相談ください。

申し込み・おたすね／建築住宅課 ☎21-6720

平成27年度 原子力関連施設見学会の開催

市では、原子力発電の仕組みや放射能、発電所の安全対策について、市民の皆さんに正しい知識を習得していただくために、次のとおり「原子力関連施設見学会」を開催します。

- と き：6月24日(水) 8時30分 出雲市役所 第2駐車場 集合
16時20分 解散予定

- 見 学 先：①島根県原子力防災センター
②島根原子力館
③島根原子力発電所（構内見学）

- 募 集：①募集期間：6月1日(月)～12日(金)
②募集定員：20名

③抽 選：参加希望者が定員を超えた場合、抽選にて参加者を決定します。

- 応募方法：参加を希望するすべての方の住所・氏名（ふりがな）・生年月日・年齢・電話番号を次の方法で、防災安全課までご連絡ください。

- ①はがき 693-8530 （住所不要）出雲市役所 防災安全課
- ②電 話 21-6606（平日のみ9時～17時受付）
- ③F A X 21-6574
- ④メール bousai@city.izumo.shimane.jp

- そ の 他：①参加費は無料です。（集合場所までの交通費は参加者負担）

②昼食は市で用意し、移動は貸切バスで行います。

③小学生以下は保護者同伴でお願いします。

④応募者には抽選結果をお知らせし、参加者には、別途、詳細な案内を送ります。



おたすね／防災安全課 ☎21-6606